

令和2年度

オホーツクの研究活動

研修部長

網走市立中央小学校

校長 沼田 泰彦

1. はじめに

オホーツク管内校長会は、北見市、北見、網走、遠軽、紋別の五つのブロックの小中学校・義務教育学校で組織されている。各ブロック及び管内において研究大会が組織的・継続的に行われ学校組織の活性化や教職員の資質・能力の向上に向けて校長自らが職能向上に努めている。研究の成果が管内の教育課題解決、教育実践活動の充実に生かされてきている。しかしながら今年度は新型コロナウイルスの流行により当初の研修計画を大幅に変更せざるを得なくなった。管内校長教育研究大会を誌上交流とし、分科会提言をまとめた研究集録の作成を通じて実践研究を深めた。なお管内大会に繋がる各ブロックの研究大会も中止となった中で、ブロックで研修方法を工夫し練り上げた提言となり、内容の充実した集録となった。

また、これまで準備を進めてきた第62回北海道小学校長会教育研究オホーツク・北見大会も新型コロナウイルス感染防止から会同しての実施が出来なくなったことは大変残念に思う。

2. 研究計画

(1) 研究主題（平成29年度策定4か年継続研究）

『社会を生き抜く力を身に付け、新たな知と未来を切り拓く

日本人を育てる学校教育の推進』

～ オホーツクの大地から世界を見つめ、新しい社会の形成に向けて

挑戦する子どもを育む学校経営の推進 ～

(2) 研究推進の基本事項

- ① 管内校長会が組織的・計画的に研究を進めるため、四つの研究領域を設定し、それぞれを研究推進のための分科会とする。
- ② 各分科会は、「校長としての指導性」の観点から研究課題を設定する。
- ③ 会員全員がいずれかの分科会に所属し、各分科会の研究課題に基づいた研究を会員毎に進める。
- ④ 会員は、各分科会の研究課題から自校の経営や教育活動上の課題を探り、学校・児童生徒・地域社会の実態を踏まえ、一校を経営するという自覚に立った実践研究を進める。
- ⑤ 各分科会には、年度毎に提言者を置き、各分科会の研究課題に基づいた研究発表を管内研究大会において行う。
- ⑥ 研究発表は、各学校で行われている研究課題への取組を基に作成されるが、担当の市町村校長会は、提言者の提言内容が研究課題に沿い、成果や課題が明らかにされるように助言・協力を行う。
- ⑦ 管内校長会研修部は、提言者が研究内容とした研究課題を早期におさえ、提言者の取組の成果や課題が明らかになるような助言を行う。
- ⑧ 管内研究大会における研究発表及び討議の柱に基づいた研究協議を通し、校長会組織として成果や課題を明らかにする。

(3) 本年度管内教育研究大会（誌上交流）における分科会と研究課題

第1分科会【学校経営】

小「学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の指導性」

中「学校経営ビジョンの実現と活力ある組織づくりにおける校長の指導性」

第2分科会【教育課程】

小「知性・創造性を育む教育課程の編成と校長の指導性」

中「豊かな心を育て、人間としての生き方の自覚を深める教育課程の編成・実施と校長の指導性」

第3分科会【指導・育成】

小「教職員としての豊かな人間性や指導力の充実と校長の指導性」

中「教職員としての豊かな人間性や指導力の充実と校長の指導性」

第4分科会【危機管理・教育課題】

小「危機管理に強い組織育成のための意図的・計画的な取組の推進と校長の指導性」

中「危機管理に強い組織育成のための意図的・計画的な取組の推進と校長の指導性」

3. 今年度の研究活動の概要

(1) 第62回北海道小学校長会教育研究オホーツク・北見大会

期日・会場：令和2年9月11日（金）12日（土）北見市「北見市民会館」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のために、誌上交流大会として実施

(2) 第48回オホーツク管内校長会教育研究大会

期日・会場：令和2年8月21日（金）北見市「ホテル黒部」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のために、誌上交流大会として実施

○提言者のレポート及び参考資料をまとめて研究集録を作成し配付交流

(3) ブロック大会

① 網走ブロック小中学校長教育研究大会【網走市・斜里町・清里町・小清水町・大空町】

期日・会場：令和2年7月28日（火）斜里町「斜里町公民館」

② 北見ブロック校長会学校経営研究会【美幌町・訓子府町・置戸町・津別町】

期日・会場：令和2年7月28日（火）訓子府町「訓子府公民館」

③ 北見市ブロック小中学校長会学校経営研修会【北見市】

期日・会場：令和2年7月28日（火）北見市「端野総合庁舎」

④ 遠軽ブロック校長会研究大会【遠軽町・湧別町・佐呂間町】

期日・会場：令和2年7月28日（火）遠軽町「ホテルサンシャイン」

⑤ 紋別ブロック校長会研究大会【紋別市・滝上町・興部町・西興部村・雄武町】

期日・会場：令和2年7月30日（木）雄武町 道の駅「おうむ」

※いずれも集合形態でのブロック研修会は中止

4. おわりに

「オホーツクブルーに輝く空の下、北見の大地から新たな一歩」のキャッチフレーズのもと全道各地から多くの会員の皆様の参加の中、開催する予定であった北海道小学校長会教育研究大会オホーツク・北見大会が誌上交流大会となった。お迎えできなかったことは残念であるが、開催に向けた管内校長会の機運の高まりは、少なからず管内教育の充実に繋がるものと思う。

また、オホーツク管内校長会の研究活動は今年度が4カ年計画の最終年度であり、これまで研究主題・テーマを掲げ「校長としての指導性」を高めるための研修活動を進めてきた。誌上交流となった今年度も、提言の充実が図られオホーツク管内校長会としての研修を繋ぐだけに留まらず、深化することができたと考える。

アフターコロナ、Society5.0など社会の急激な変化と共に学校教育も大きな転換期を迎えている。時代の変化に合わせた新たな3年計画を策定し、管内教育の充実・発展のためにオホーツク管内校長会一丸となって取り組んでいきたい。